



## 「凜とした生き方」

さん びれい  
金 美齡

### 【略歴】

1934年生まれ、台北出身、日本統治下の台湾で育ち、日本敗戦後国民党による台湾人弾圧時代を経験し、日本に留学してから台湾民主化運動に参加する。このため30年間以上も台湾の土を踏むことができず、両親の葬儀にも参列できなかった。台湾の民主化が進んだ後、台湾総統府国策顧問に任命(2000年-2006年)されるなど、台湾そして日本への強い影響力をもつようになる。テレビ、書籍、講演などで見る筋金入りの“闘士”“戦士”としての姿、そこには実体験から生まれた確かな主張がある。その凜とした生き方は多くの人に勇気と元気を与えている。

### 【主な活動内容】

多くの大学で講師を歴任。早稲田大学では20年以上英語教育に携わる。JET日本語学校校長(88年4月-00年3月)。台湾総統府国策顧問(00年5月-06年5月)。テレビを始め、新聞・雑誌など各種メディアにおいて、家族・子育て・教育・社会・政治等、幅広い分野にわたって様々な提言を行っている。

### 【著書】

自分の人生、自分で決める(講談社)、世界一豊かで幸せな国と、有難みを知らない不安な人々(PHP研究所)、金美齡の直言(WAC(ワック))、日本人に生まれて幸せですか(海竜社)、金美齡の私は鬼かあちゃん(黙出版)、誰のために生きるのか(海竜社)、三大家族11人で暮らしてみたら(扶桑社)、日本が子どもたちに教えなかったこと(PHP研究所)、日本は世界で一番夢も希望もある国です!(PHP研究所)、夫婦純愛(小学館)、政治家の品格、有権者の品格(ゴマブックス)、金美齡の「老後は人生の総決算」です!(海竜社)、私は、なぜ日本国民となったのか(ワック)、凜とした日本人—何を考え、何をすべきか—(PHP研究所)、美しく齢を重ねる(ワック)、夫への詫び状(PHP研究所)(2012年11月刊)他、多数